

## 売家

カール・ファレンティン　こんにちは、この物件は？

リースル・カールシュタット　家の件でうかがったのですけど。

KV　この小屋のことですか？

LK　新聞には家と出てましたわ。

KV　いや、これは小さな家です。小屋ですな。

LK　ええ、小屋、小さな小屋、ちつぽけな小屋。その小屋はこの外に建っていますの？

KV　あそこに建っておりますわい。

LK　新聞広告を見たので、私、参りましたの。家をお売りになるってことでしたが、これがその家ですか？

KV　そうです。売りたくはないんですが、手放せたら嬉しいですな。

LK　あの家は何階建てですか？

KV　階などありません。平屋です。

LK　人は住んでおりますの？

KV　目下はおりません。私は外に出ていますので。

LK　お部屋はいくつあるんですか？

KV　一つだけ。だから階段も、階段室もない。

LK　ここいらは静かなところですか？

KV　それは、もう。冬には雪の降る音すら聞こえやせんです。ですけど、夏には蟻がたくさん出ます。でも蟻は静かに歩きますから。

LK　お便所の方はどうなってますの？

KV　便所は家の中にはないんですわ。

LK　でも、もし……

KV　ここから五分のところには森があります。

LK　ええ、でも夜は？

KV　やっぱり五分ですな。

LK　いつこの家に引っ越してこられたんですの？

KV　翌日です。

L K そんなに早く！ それから、明りの方はどうなってますか？

ガスですか、電気ですか？

K V 家の中も外も 全部、電気です。

L K でも、どこにも電線が見えませんが。

K V 懐中電灯です。どこでだつて点きますよ。

L K この家は建つてどのくらい経つんですか？

K V 知りません。尋ねたことがないもんで。

L K 抵当に入ってますか？

K V いいえ。泥棒は入るかもしれませんが。

L K この四方の壁は何のためですか？

K V 支えです。

L K 何のための？

K V 屋根を。

L K 家の中に害虫はいますか？

K V いいえ、私は独り者ですから。

L K なるほど。

K V その通りで。

L K とり……

K V 私はちがいます。

L K ちよつと待って下さい。

K V どうぞ。

L K とり……

K V いいえ 鶏はおりませんがね。

L K とりたてて重要ですか、この家がじきに売れることが？

K V いや、すぐにです。すぐのじきです。

L K あなたはまた新しいお家をお買いになりますの？

K V もう家は買いません。千メートル地下の古い鉱山を借りようと探してるんです。

L K そこにお住みになるんですか？

K V もちろん。

L K 気味が悪いでしょうに。

K V ええ でも安全です。

L K 何に対して？

K V 隕石から。

L K 隕石なんてめったにありませんわ。

K V ええ、でもめったになくても安全な方がいいんです。